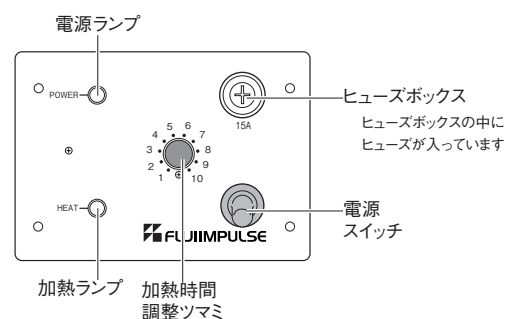
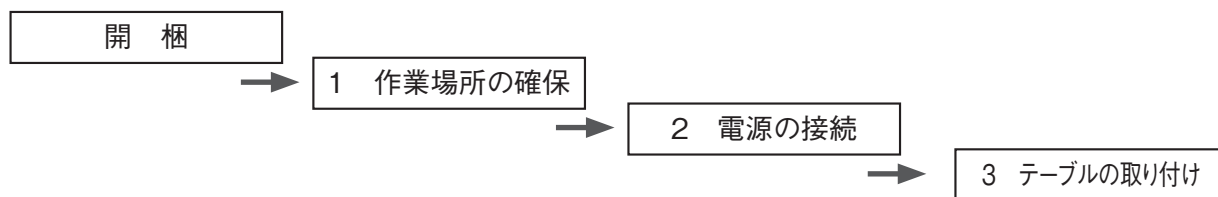
5　各部の名称とはたらき

ヒーター
フローガラスシートの下にあります
圧着レバー
フローガラスシート
電極
テーブル
復帰スプリング
テーブルステー
フレーム
引き金棒
ロット棒調整ナット
タイマー
スイッチボックス
漏電ブレーカー
漏電またはヒーターへの通電が3.5 秒以上続くとブレーカーが切れます
フットペダル
電源コード（プラグ付）

タイマー

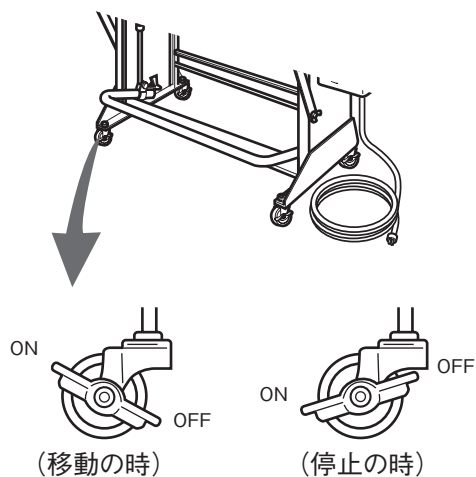
加熱目盛について

包装フィルム（袋）の材質・厚さにより加熱時間が異なります。
シール状態をよく確認して調整してください。
シール時間が良好な範囲内で、できるだけ加熱時間を短く調整されると、無駄な温度上昇が無く、作業速度も速くなり、また、ヒーター、フローガラスシート、ガラステープなどの消耗が非常に少なくなります。ヒーターを必要以上に加熱させないように注意してください。

6 準備

開梱から製品を使い始めるまでの準備は、概ね以下の手順で行います。

6-1 作業場所の確保

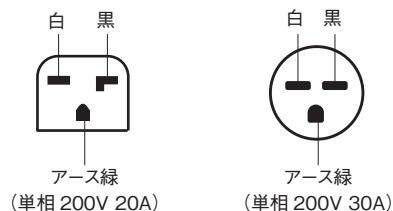
作業場所が決まりましたら、本体下部のキャスター（4 個）をしっかりとロック ON 状態にして固定してください。

⚠ 警告　傾きや、段差のある不安定な場所では使用しないでください。製品が倒れたり、設置場所から移動しての破損、負傷の恐れがあります。必ず平らな安定した場所でご使用ください。
設置面が濡れていたり、水滴・水蒸気がかかる場所では使用しないでください。製品の故障の原因となり、漏電する危険性があります。

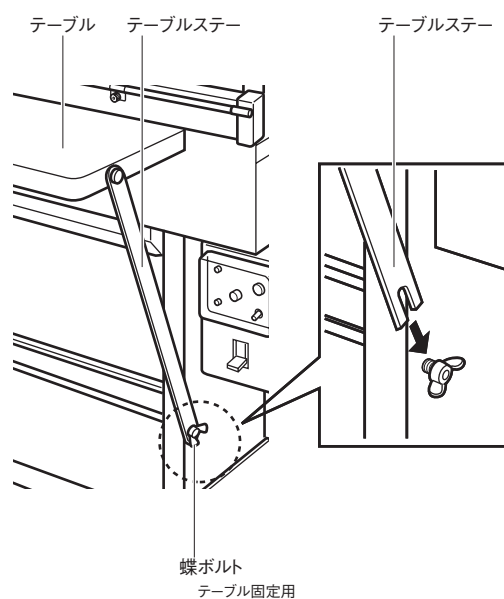
（移動の時）　（停止の時）

6-2　電源の接続

電源は必ず、製品の消費電力に適合した容量を持つコンセントから直接接続してください。また、プラグは根元までしっかりと差し込んでください。「10 仕様」にてお買い上げ製品の消費電力はをご確認ください。

⚠ 警告　お買い上げ製品の消費電力をご確認いただき、コンセントの容量がそれ以上であることを確認の上、直接接続してください。容量の少ないコンセントから電源を取ったり、継ぎ線をしたりすると電圧降下し、製品が正常に動作しないだけでなく、電線やコンセントに発熱して火災の原因にもなりますので、適切な容量になるように電気配線工事をしてください。
※電気配線工事は、電力会社の認定工事店で行ってください。（電気工事、第３種設置工事の施工には資格が必要です）

⚠ 警告　本体に組み込まれている標準のプラグを取り除き配線する場合は、接続に誤りのないように確かめて行ってください。コードの接続は右のようになっています。アース（線）が所定の端子に接続されていない場合、電源側で短絡（ショート）や漏電をします。

6-3　テーブルの取り付け

テーブルを水平まで持ち上げてください。
テーブルステーを本体両側面にある２個の蝶ボルトに差し込んでください。
蝶ボルトをしっかりと締めて固定してください。

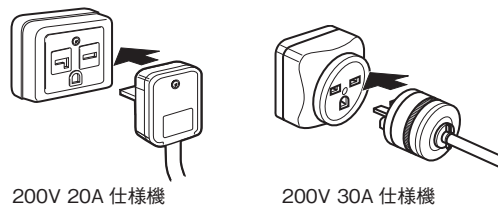
⚠ 注意　ボルトはしっかりと固定してください。緩んだまま作業を行いますと、少しの衝撃やテーブルの持ち上げによって、テーブルステーが外れテーブルが傾き落下する恐れがあります。必ずガタツキのないようにしっかりと固定してください。

7　正しい使い方

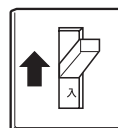
「6 準備」を行った後、以下の「正しい使い方」をよくお読みいただき、お使いください。
以下の方法以外の操作方法で使用されますと故障の原因となり、たいへん危険です。
手順通りに製品が作動しなければすぐに使用をやめてお買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。

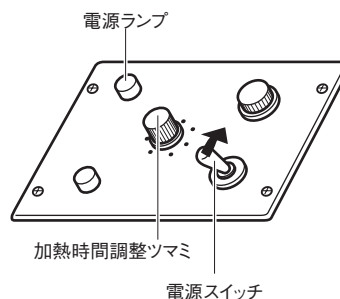
7-1　電源の確保

電源コードの先端のプラグを直接コンセントに差し込んでください。

200V 20A 仕様機

200V 30A 仕様機

7-2　漏電ブレーカー ON

本体右下のスイッチボックスにある漏電ブレーカーを「入」にしてください。

7-3　電源スイッチ ON

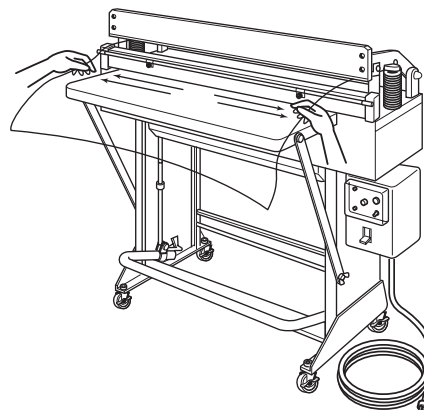
本体右下のスイッチボックスにあるタイマーの電源スイッチを ON 状態にしてください。
タイマーの電源ランプが点灯します。

7-4　加熱目盛の設定

タイマーの加熱時間調整ツマミをフィルムの材質や厚みによって設定してください。

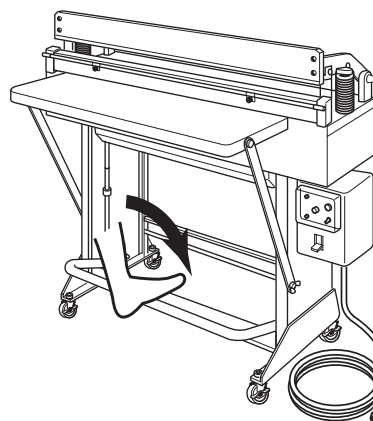
加熱時間調整ツマミの目盛設定は、繰り返しシールテストを行って、最適な加熱目盛を設定してください。

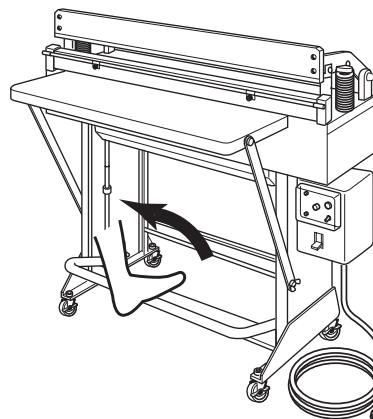
7-5　フィルムをセット

シール面にフィルムをのせ、両端を整えて、シワにならないように引っ張りながらシールしたい箇所までフィルムを移動させてセットください。

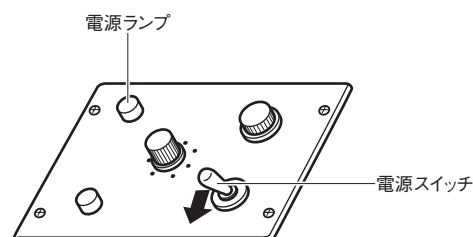
⚠ 注意　フットペダルを踏むと圧着レバーが閉じます。特にシール面に袋をセットするときなど指を挟み込まないように充分に安全を確認した上で作業を行ってください。
誤って手（指）をシール部に入れたままフットペダルを踏むと、指にけがや火傷をする恐れがありますので、フットペダルを踏む時は、フィルム以外のものがシール面の上にない事を確認してから作業を行ってください。

7-6　フットペダルを踏む

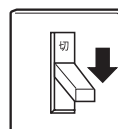
再度安全を確認した上で、フットペダルを踏み込んでください。
加熱ランプが点灯します。加熱ランプ消灯後、２～３秒間はフットペダルを踏み続けて、冷却時間をとってください。

⚠ 注意　シール中は、ヒーター、電極が熱くなっていますので、手などが触れますと、火傷をする恐れがあります。シール中は、ヒーター、電極に触れないようにしてください。
安全のため、電極カバーは必ず取り付けててください。（「8-4 、8-5 ヒーターの交換方法」に記載している解説をご参照ください。）

7-7　フットペダルから足を離す

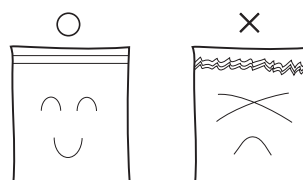
フットペダルから足を離し、圧着レバーが上がると、シール完了です。
フィルムを取り出して、シール状態を確認してください。

7-8　作業終了の仕方

タイマー OFF

本体右下のスイッチボックスにあるタイマーの電源スイッチを OFF にしてください。
（タイマーの電源ランプが消灯）

漏電ブレーカー OFF

本体右下のスイッチボックスにある漏電ブレーカーを「切」にしてください。

⚠ 注意　長時間使用されないときは電源プラグもコンセントから抜いてください。

7-9　シールの仕上がり状態について

インパルス方式のシーラーは、シール条件として加熱、冷却、圧力が重要であり、シールの良否に大きく左右します。また、異なる包材、内容物に於いて加熱時間、冷却時間、加圧力の最適な設定が異なりますのでご注意ください。

⚠ 注意　異なる包材、内容物における最適なシール状態がお客さまの責任において確認してください。
ガゼット袋の場合、厚みが場所によって異なりますので密封されているかどうか、必ず確認してください。
【例：水中で袋を押し、気泡が出ないか確かめるなど】

附属部品の中にシールサンプルが入れておりますので、ご参考にご利用ください。